学校法人工学院大学
『創立130周年記念事業募金』中間報告

KOGAKUIN UNIVERSITY 130th Anniversary

創立130周年記念事業募金

ご協力の御礼

2015(平成27)年11月から、教育・研究環境の整備ならびに学生・生徒の創造活動支援を目的に開始しました『学園創立130周年記念事業募金』には、多くの皆さまからご芳志を賜り、本年10月20日までにご支援いただきました寄付総額が、入金ベースで1億18,988,300円になりました。心から御礼申し上げます。

皆さま方のご支援により、創立130周年記念事業募金を原資として、平成28年度および平成29年度上半期までに実施しました事業等につきまして中間のご報告をさせていただき感謝申し上げますとともに、次の150周年に向けて、理念として掲げております『無限の可能性が開花する学園』を具現化するという総意の下、教職員、在校生およびご父母、校友などが一致協力して、常に新しい挑戦を続ける学園として、教育・研究・社会貢献活動の一層の充実・発展に努めてまいります。

創立130周年記念事業募金は、2018(平成30)年3月をもちまして終了いたしますが、既に活用済みのもの、また使途指定のものを除きますと、教育・研究環境の整備ならびに学生・生徒の多彩な創造活動を支援するためには、引き続きの募金活動が必須です。

今後とも、皆さま方の変わらぬお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成29年10月

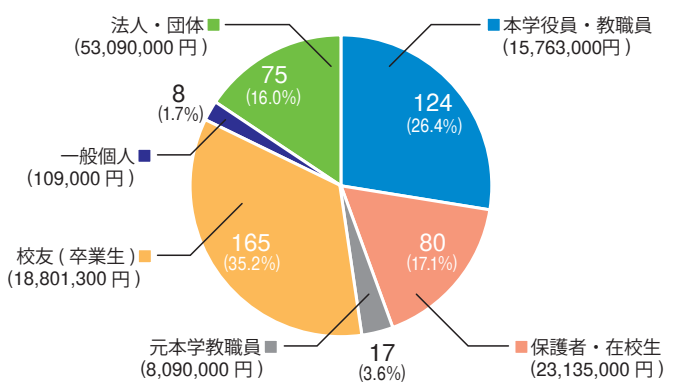
目　標　額・・・・・3億円

募集期間・・・・・平成27年11月1日～平成30年3月31日

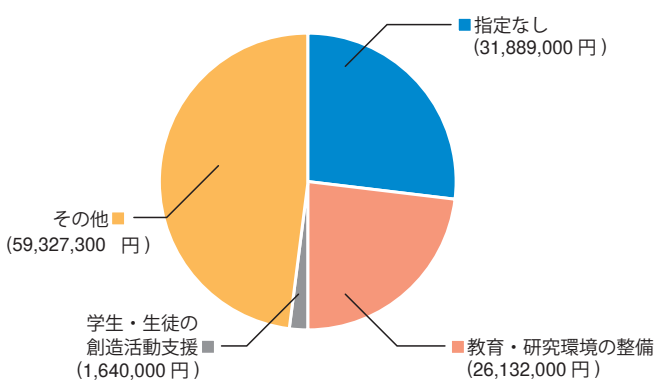
学校法人工学院大学
理事長　後藤　治

創立130周年記念事業募金　寄付申込状況(平成29年10月20日現在)

寄付者別



使途別



教育・研究環境の整備事業

新2号館の竣工および図書館・ラーニングコモンズの環境整備

2017(平成29)年3月、八王子キャンパスの再開発プロジェクトの最後を締めくくる「新2号館」が竣工しました。
新2号館の建設は、株式会社フジタ(設計・施工)と株式会社INA新建築研究所(設計)が担当し、両社ともに本学の建築学部で学んだ同級生が中心となりプロジェクトに携わりました。さらに、建築学部の塩見一郎教授(建築デザイン学科)と2016年に定年退職されました飯島直樹氏(建築デザイン学科元教授)がインテリアデザイナーとして参画し、校舎建設では類を見ない試みとして、学生の視点に立った斬新なアイディアが随所に取り入れられています。
新2号館4階図書館・ラーニングコモンズの下記什器備品は、工学院大学後援会様からのご寄付(1,400万円)で整備しました。

工学院大学後援会様からのご寄付で整備した新2号館4階図書館・ラーニングコモンズの什器備品一式

什器備品名称	数量
BOX席モニター下収納	3
パーティション	3
天板・妻板・軒	1
同上用ベンチ	1
窓側ベンチ	1
窓側DVD棚	1
DVD・本　両面棚	1
楠木材テーブル	1
ショーケースA本体・B本体	2
本棚A・B	2

什器備品名称	数量
大テーブル・手元照明BOX	6
カウンターテーブル・手元照明BOX	1
インフォメーションカウンター	1
カウンターバック収納	2
コピー機廻り収納	1
個室内テーブルA・C	4
吹抜廻りベンチ	1
吹抜廻りベンチディスプレイ棚	2
楠ハイテーブル	1
コンソールベンチ	1

学生・生徒の創造活動支援

学生プロジェクト「Birdman Project Wendy 」が『鳥人間コンテスト』に出場

学生プロジェクトの一つである「Birdman Project Wendy 」は、2001年の発足から3年目となる2004年に「鳥人間プロジェクト」に初出場。その後出場した2005年は第4位、2008年は第5位に入る好成績を残しました。今回は前回出場した2010年から7年ぶり5度目となる【人力プロペラ機ディスタンス部門】に出場しました。

学内の施設を活用し、学生自らが製作した新機体「燈火(ともしび)」で、7月30日(日)に滋賀県彦根市の松原水泳場に造られた高さ10メートルのプラットホームから7年ぶりに琵琶湖の空へ飛び立ちました。結果は、当初の目標"1km以上飛行"には届きませんでしたが、本大会での反省も踏まえて、2018年のコンテスト出場を目指し、既に新体制でプロジェクトが始動しています。

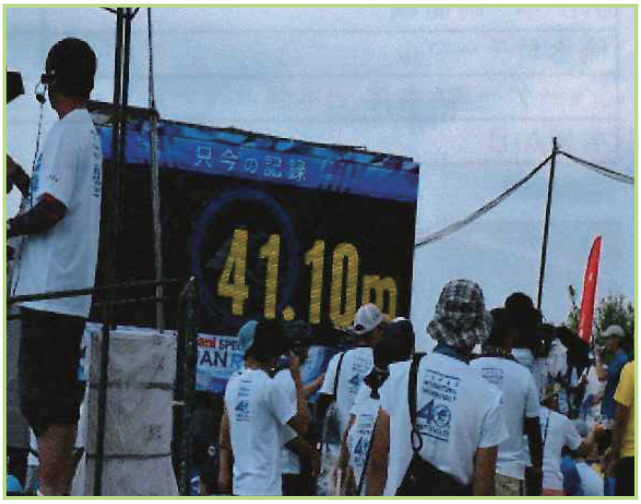
大会の模様は、2017年8月23日午後7時から日本テレビ系列で放送されました。今後とも、皆さま方の温かいご支援をお願いします。

Birdman Project Wendy　馬場リーダーの一言

2017年度、7年ぶりに鳥人間コンテスト出場を果たしました。チームとしては非常に喜ばしいことであり、Wendyの歴史をしっかりと刻むことができました。しかし、結果は決して喜ばしいといえるものではなく、涙を流すメンバーが多数いました。この涙を、先輩方の気持ちや思いを無駄にしては意味がないと思います。これから1年、力不足であった点を十分見直し、先輩方が見ることができなかった景色を私たちの代で見せようという気持ちで取り組んでいます。

来年度の鳥人間コンテストに向けて全力を尽くしていきます。先輩方の記録を超えることが目標です！

水野明哲様からのご寄付　800,000円



『工学院大学ソーラーチーム』のソーラーカープロジェクト

『工学院大学ソーラーチーム』は、世界大会出場を機に年々スケールアップし、現在は300名を超える学生メンバーと、各分野で先端研究に取り組む教員陣がアドバイザーとなり「総合研究所ソーラービークル研究センター」を設立しました。学内ものづくりの施設を最大限に活用しながら、学部・学科の枠を超えて横断的な技術支援を展開し、産学連携を目指した研究体制の強化に取り組んでいます。

チームにとって3度目の参戦となる『ブリヂストンワールドソーラーチャレンジ』(開催期間:2017年10月8日～15日)は、オーストラリア大陸を北から南へ約3,000Kmを縦断する世界最大級のソーラーカーレースです。

2015年の前回大会では、実用性重視のクルーザークラスで準優勝の実績を残し、今回はより速度を重視した冠クラスであるチャレンジャークラスに2013年大会以来、2度目のチャレンジをしました。上位チームより大会出場実績などが劣る状況下でも大学の研究資源(教員)と"ものづくり"の施設を最大限に活用し、約50のサポート企業から最先端素材や技術提供を受けながら、車両の開発・設計から製作などに取り組みました。更に、ソーラーカーのドライバーを学生たちが務め、レース中の車両メンテナンス、キャンプ、メディア対応などレースに関わる全てを学生主体で行いながら、見事3,021Kmを完走。チャレンジャークラス7位(日本勢では2位)の成績を収めました。

寄付金額　7,500,000円

管村昇様、望月勲様、望月肇様、NTN株式会社様、株式会社住宅性能評価センター様、スマートソーラー株式会社様、PRクエスト株式会社様、株式会社未来樹脂様からのご寄付

創造活動プロジェクト　学生リーダーの一言

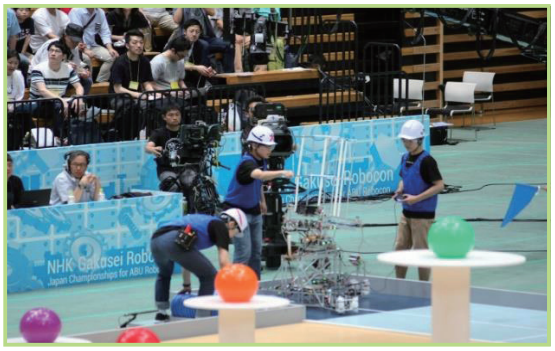
学生フォーミュラプロジェクト

小さい頃から車が好きで、将来、車に携わる仕事がしたいと思い工学院大学に進学しました。

大学には様々な学生団体がありますが、学生フォーミュラほど活動に熱中できる団体はないと思い加入しました。

学生フォーミュラでは、金属材料から車両の設計、製作、試走、評価までを一貫して学べるため、車の理解がより深まります。また、授業では体験することのできない実学が充実していて、学生の段階から車の開発に携わることができるため、車両についての知見を広げて製作や設計を通じて技術力を高めて大会で功績を残したいと思います。

KRP（工学院大学ロボットプロジェクト）



組織の目標は、メンバーひとりひとりの能力を活かしてチーム全体に貢献することです。この目標を達成するために、メンバーそれぞれが自分の得意分野で能力を発揮し、全体の効率を上げていこうと思います。NHK学生ロボコンで最高記録を達成して優勝したい！。

本年6月11日（日）に行われた『NHK学生ロボコン2017』大会では、全試合中最高成績であったものの決勝進出できませんでした。次回大会でも最高成績を達成し、『NHK学生ロボコン』で優勝することを目指します。

エコランプロジェクト

2016年11月5日に行われたNATS EV競技会（最新）では、1.1kmのコースを22周という結果を出しました。今年度は、他チームからのアドバイスなどを盛り込んだ新機体を製作し、昨年度の結果を超える30周を目指します。先輩から受け継いだ技術、授業で得た知識や経験などを後輩たちに教え、プロジェクトの更なる躍動を目指します。

Science Create Project

SCPでは、子どもたちに科学の楽しさを伝えるために、年に5回程度、各地で科学教室を開催しています。安全で楽しい実験を子どもたちに提供するために、SCPメンバーひとりひとりの科学の知識と実験力の向上を目指しています。更に、科学教室を行う上では、チームワークが最も重要であると考えています。そのためには、個人の意見を尊重しながら他の意見も取り入れていくことが大切です。このようなSCPの活動を通して得た経験が、今後の私たちの日々の生活に役立つと考えています。

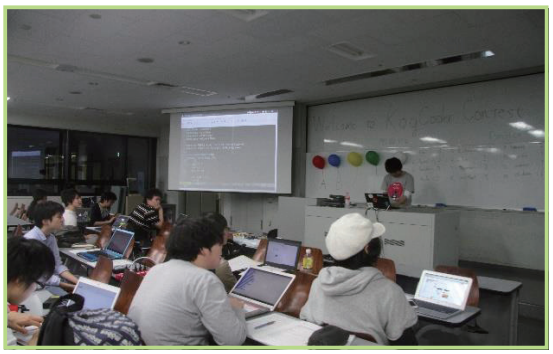
WA-K.Pro（建築系学生プロジェクト）

1～2年生、3年生、4年生で活動拠点が別々になってしまうので、学年間での繋がりを持つことで1～4年生の間で建築について語り、高め合い、学外と学内両方のプロジェクト計画を通して、他の作品に触れることで個々人の刺激となり、WA－K.Pro全体の活動の向上を図ります。

KogCoder（競技プログラミングチーム）

競技プログラミングを通して、今後ますます必要とされるプログラミング技術を磨き、社会に貢献できる人材を育成します。また、現在不足しているセキュリティの分野において、知識を深め活用できる人材を育成します。そのために、ACM－ICPOという世界中の大学生が競う競技プログラミング大会や100カ国近くから4,000人以上が参加するSECCONのセキュリティ大会において、世界優勝を目指して活動しています。

また、ハードウエアやソフトウエアなど、幅広く知識を身につけていきます。



みつばちプロジェクト

構成員全員が養蜂を通じて自然環境に興味を持ち、蜜蜂を大切に扱っていくこと。また、みつばちプロジェクトは構成員が少ないですが、自発的に養蜂に取り組んでいけるような環境を創っていきたいと考えています。

使途指定寄付

情報学部学業成績表彰・奨励

2006(平成18)年4月に電子工学科と情報工学科を母体として誕生した情報学部は、2016(平成28)年4月から新しい情報学部として発足しました。学部発足10周年を機に、情報通信工学、コンピュータ科学、情報処理、人間科学、データ科学などの分野で特に情報学部の社会的認知度の向上に寄与した学部生・大学院生を表彰し、もって情報学部および大学院電気・電子工学専攻、情報学専攻、システムデザイン専攻の教育・研究の充実を目的に『情報学部学業成績表彰・奨励』制度を設けました。
この原資は、130周年記念事業募金に使途を指定してご寄付された金員を充て、毎年度奨励します。
平成29年度奨励者：大学院博士後期課程生2名、大学院修士課程生5名、学部生1名

寄付金額　4,330,000円
大木榮二郎様、大塚裕幸様、小柳義夫様、管村昇様、田中輝雄様、田中久弥様、馬場健一様、水野修様、三好和憲様、一般社団法人IT産業懇話会様、エーアイテクノロジー株式会社様、ソフトウエアクリエイション株式会社様、TISソリューションリンク株式会社様、株式会社トランプソフト様、PRG株式会社様からのご寄付

建築学部の教育活性化

「産学連携の協力推進に関する協定」に基づき、『産学連携奨学プログラム(ISDC(Industry-Student Direct Collaboretion Program)』に応募した建築学部4年生および大学院建築学専攻1・2年生の中から、優れた研究成果を上げた学部生・大学院生11名(10組)にコラボ支援金を給付しました。
本プログラムの最大の特徴は、これまでになかった学生と企業との「直接的(ダイレクト)」な「連携(コラボレーション)」を実現したことです。コラボ学生は、企業からのコラボ支援金を活用しながら、その成果を論文や設計提案としてまとめ、参画企業の経営陣や研究テーマに関連した部署のリーダーなども出席する最終発表会の場でプレゼンテーションし、評価を受けました。

株式会社セブン＆アイ・クリエイトリンク様、株式会社フジタ様からのご寄付　1,000,000円

熊本地震の避難所にダンボールシェルターを提供

建築学部鈴木敏彦教授が、2011(平成23)年3月11日に発生した東日本大震災の被災地支援の一環で開発したダンボールシェルターを改良し、2016(平成28)年4月14日熊本県熊本地方を震源とする地震で、体育館等に避難している被災者のための寝室・更衣室・避難トイレ・診療室などの用途に使用できる『ダンボールシェルター3』を提供しました。

寄付金額　1,508,350円
株式会社優良住宅ローン様、株式会社住宅性能評価センター様、株式会社建築構造センター様からのご寄付

ダンボールシェルター等搬入・設置実績

4月29日(金)　熊本県上益城郡益城町:20個
　　熊本県阿蘇郡西原村:15個
4月30日(土)　熊本県阿蘇郡南阿蘇村:20個
　　熊本県阿蘇市:25個
5月16日(月)　熊本県八代市:　50個、
　　クロスウォールシステム50セット
　　熊本県上益城郡嘉島町:10個、
　　ダンボ ールベッド10セット

『ダンボールシェルター3』の組み立て』

ベトナムの協定校　ダナン工科大学からの留学生サマーキャンプ支援事業

国際交流協定校のダナン工科大学から留学生を受け入れる準備として、サマーキャンプを実施し、31名の留学希望学生(引率教職員を含む。)を受け入れました(平成28年度 10名、平成29年度 21名)。
活動内容は、本学の説明、イノベーションジャパン見学、科学教室への参加、新宿・八王子キャンパス見学、情報分野と建築分野ごとにダナン工科大学の学生・教員との交流を行いフィールドワークも実施。都内と富士山を観光し、日本の文化を見る、日常生活で日本の習慣や食べ物について体験しました。
アンケートの満足度では、参加者全員が大変満足。また、学生または研究者として、再来日を希望している学生が多くいました。本学の支援学生は、自らの意思で寝食を共にし、その際に、どんなことをしてみたいか、何か困っていることはないかなど積極的に関わり、交流しました。サマーキャンプの活動を通して、ベトナムに対する興味なども深まり、ダナン工科大学への留学の意思を持つ学生が出てきたことが支援学生の変化です。
この留学生サマーキャンプは、本学卒業生田野邊幸裕様からのご寄付(200万円)で実施しました。

体育祭のイベント活性化

本学前学長・現顧問の水野明哲様から、『体育祭のイベント活性化』を使途指定としてでご寄付をいただきました。このご寄付で、テント3張、体育会旗を制作・購入し、体育祭はじめイベント等で有効に活用しています。

寄付金額　500,000円

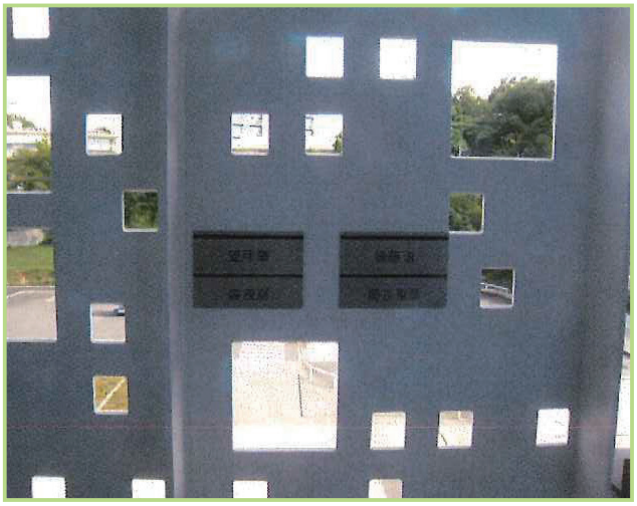
創立130周年記念事業募金　寄付者銘板

平成29年3月30日、学園創立130周年記念事業募金にご寄付を賜りました皆さま、学園関係者、工事関係者らをお招きし、八王子キャンパスに竣工した「新2号館」の寄付者銘板除幕式ならびに新2号館ご披露会を開催しました。

ご寄付を賜りました方のご芳名は、新2号館1階入口壁面に、また、一定額以上のご寄付を賜りました方のご芳名は、新2号館4階図書館・ラーニングコモンズ外壁内側に掲出し、末永く顕彰させていただきます。
50,000円以上のご寄付をされた皆さまのご芳名は、メディアにて投影しています。

寄付者銘板除幕式（平成29年3月30日）

新2号館1階入口　寄付者銘板



新2号館4階図書館・ラーニングコモンズ外壁に取り付けた寄付者銘板